

映画ポパイの撮影村とマルタ騎士団の本拠地・マルタ共和国

マルタは本島とゴゾ島とその間にある小さなコミノ島からなる共和国である。島のあちこちにロマンに満ちた先史時代の遺跡が散見されるが、いずれも紀元前5千年、8千年と気の遠くなるような遙かな昔に栄えた巨石文化である。

以来幾多の変遷をへて、16世紀には聖ヨハネ騎士団、のちのマルタ騎士団の本拠地となった。首都ヴァレッタは、ヨハネ騎士団長ヴァレットによって築かれた要塞都市で、マルタストーンと呼ばれる美しい蜂蜜色をした特産の石灰岩で街全体がつくられ、柔らかなえもいわれぬ雰囲気を出している。1980年に世界遺産に登録された。

歴史的にみるとローマ帝国、イスラム帝国、ノルマン人、スペイン、フランス、19世紀には、イギリスに支配されたが1964年独立し、1974年イギリス連邦マルタ共和国となった。



ハニーストーンの柔らかな色彩が美しいマルタ共和国の首都ヴァレッタ

目の下に青い海原が広がるホテルに到着したが、この辺りはいまマンションやホテルの建設で賑わっている。ガイドはこの付近のマンションは1億円を超え、マルタで最も人気が高い地区と説明する。徒歩でヴァレッタのメイン通りを散策した。通りは碁盤の目のように仕切られている。

有名なヨハネ大聖堂を右手に見て小さな広場の正面入り口から大聖堂に入る。外から見たときには変哲もない聖堂に見えたが、中に入った途端その煌びやかな黄金色に彩られた豪華さに思わず息を飲んだ。騎士団は8つの言語ごとに編成され、(プロヴァンス、オーベルニュー、フランス、イタ



黄金色に輝く聖ヨハネ大聖堂

リア、アラゴン、イングランド、ドイツ、ポルトガルカステイリャ)その8つの礼拝堂が競うように聖堂の内部を彩り、床は全て見事な色大理石のモザイクで飾られている。

大聖堂に付属する「聖ヨハネ大聖堂美術館」は必見である。写真撮影は厳しく取り締まられ、誰かが違反したのか係員がびっくりするような怒声を張り上げぎくりとさせられた。

イタリア人のカラヴァッジョの大作「聖ヨハネの斬首」が巨大なキャンバスに描かれている、絵は正面の壁にきっちり収まる形になって取り外し不可である。従ってこの絵はここへ来てみる以外見られない。これだけでもマルタを訪れる意味があろうというものだ。殺人を犯したカラヴァッジョがマルタに逃れ、

友人の騎士を頼ってここにかくまわれ、2年間マルタで過ごして

いる間に描いた絵である。

かつてのマルタ騎士団長の館は中庭が2つもある建物で、まことに巨大で豪勢でこれを維持した騎士団の力や財力の底深さを思い知らされる。現在はマルタの大統領府と議会議事堂が置かれている。訪れた2017年は、マルタ共和国がECの議長国であるため、館は1階に展示してある中世の武器の見学以外は何処も見学できなかった。

マルタ騎士団とはキリスト教の聖地エルサレムをイスラム教徒から奪還するために編成された十字軍を支えたのが聖ヨハネ騎士団(1113年に設立)である。キリスト教徒のエルサレムへの巡礼者の保護や病人の救済を任務とした。十字軍がイスラム教徒に追われたため、聖ヨハネ騎士団はロドス島を本拠としたが、1522年オスマン帝国に敗れさらに本拠をマルタ島に移し、以来マルタ騎士団と呼ばれるようになった。

騎士団は西欧の富裕階層の次男以下で構成され、親等からの経済支援や自身が相続した領地からあがる収入などを財源とした。騎士団の規律は厳しく結婚は認められていない。1834年マルタ騎士団の本拠はローマに移され、現代に至るも国連や欧州連合にオブザーバーとして参加を認められている。

騎士団は軍事的な任務から解かれて現在は国際慈善事業を中心に活動を続けている。

ローマの7つの丘の一つアヴェンティーノの丘の高台にはマルタ騎士団の団長の館が聳えている。館の大扉の鍵穴は観光客に人気が高い。鍵穴を覗くと真正面にカソリックの総本山ヴァチカンのサンピエトロ大聖堂のクーポラがくっきりと見えるのである。館の下にはテベレ川がとうとうと流れている。



ローマにあるマルタ騎士団団長の館の門



館の門の鍵穴から覗くとサンピエトロが見える

さて本島からゴゾ島へはフェリーで20分ほどである。この距離は三浦半島久里浜と千葉の金谷間の距離より短い。ゴゾ島の観光スポットに「アズールウィンドウ」



アズールウィンドウのポスター

がある・・・はずだったが・・・見学に訪れる2時間前に風波でまったく跡形もなく崩壊してしまうというハプニングがおこった。それにしても何とも歴史的な瞬間に出くわしたものだ。アズールウィンドウは、断崖を風と波が数千年と気の遠くなる時間をかけて作り上げたアーチ型の洞門で、写真やポスターで見ると

断崖の岩が削られ、四角い窓のような穴が開いたマルタの重要な観光資源であった。アズールウィンドウが消滅してしまったことについてマルタ大統領も所感を述

ベTVニュースとして世界に向けて発信され日本でも報じられた。

世界遺産の「ジュガンティーヤ神殿」へ向かう。ほどなくして緑の草原に板で作られた通路にそって歩くと、大きな石[石灰岩]を積み重ねた建造物が見える。見たところ雑な石組にしか見えない。高さはせいぜい10m、幅も30mほどかそうびっくりするほどの大きさでない。中に入ると刻まれた窪みや神殿らしき段が見えるが説明されねばよく判らない。ガイドの説明を聞くとなんとこの神殿は紀元前3600年前、今から5,6千年前の建造物だとのこと、この狭い島に古代文化があったことに驚きながら、はるかな昔に思いをはせる。地図で見るとこの神殿はゴゾ島の丁度中央あたりであろうか。遺跡から出土した豊穡のシンボルという太った女性の土偶や男性のシンボル、人骨、それに生贄の動物の骨などは、ヴァレッタ市内の考古学博物館に保存展示してある。



映画撮影に使われたポパイ村の全景

ヴァレッタから島の北部へバスで40分ほど走ると海辺の断崖の縁に出る。覗きこむと対岸の崖下にカラフルな家々が20軒ほどだろうか小さな村落を形成している。ここが映画セットのポパイ村で、今やマルタの貴重な観光資源の一つとなっている。

ポパイは誰からも親しまれた人気漫画で本やアニメでよく知られている。作者はアメリカのエルジー・クリスラー・シーガーである。

ポパイはセーラー服姿でいつもパイプをくわえ、なぜかホウレン草の缶詰を握りつぶして開け、口に放り込むと強くなる。ポパイの恋人のオリーブはやせっぽちな女性で、ポパイの敵役は大男のブルートだ。この三人の絡み合いが面白く、世界中にポパイファンがいる。

映画は漫画のストーリー通りアメリカ人俳優が悲喜劇を織りなす実写映画であり、アメリカのパラマウントとウォルト・ディズニー・プロダクションの共同制作で1980年に封切られた。



ポパイ村の映画セットは学校、病院、映画館、酒場もあり通りに並んでいる家は古びた昔の漁村もかくのごとしの作りとなっている。漁師の家の中には漁具や撮影に使った家具もあり今も人が住んでいるようなリアリティがあり度肝を抜かれる。

ポパイ村の入口の看板



ポパイ村の映画セットはリアルな生活空間である。村の小広場では寸劇も演じている

ロケ地はマルタ島の北部にあるアンカー湾で、現在はポパイビレッジとして広く知られている。



マルタ島には高い山も川もないゆえ、飲料水は海水を濾過したものを使っている。従って天然の森や林などは育つわけなく、ビレッジを造るための材木はわざわざカナダやオーストラリアから運びこんでの建設となった。撮影が終わった後、木造家屋の村のセットをそのまま大事に保存し、観光スポット兼夏のリゾート地として活用し今では多くの人達を集めている。日本でも地方の町おこしの好例として参考事例にしたいものだ。

ポパイは記念撮影にも気軽に応じる

入場券にはポパイ村の絵ハガキ1枚と小グラス1杯のワインサービスが付いている。村の中ほどの野外の舞台では、ポパイやオリーブ、ブルートに扮した職員の寸劇や記念撮影会など、なかなか工夫されていて退屈せず面白い体験ができる。

(2017年)